

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 座小田 孝安
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下屋敷 寛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,387	4.1	119	51.0	31		57	
2019年3月期第2四半期	7,097	1.8	244	22.6	103	40.9	50	64.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 56百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 50百万円 (63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	5.00	
2019年3月期第2四半期	4.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	18,234	1,001	5.5	87.27
2019年3月期	18,316	1,080	5.9	94.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,001百万円 2019年3月期 1,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,903	4.5	464	6.1	139	36.1	46	184.6	4.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	11,476,000 株	2019年3月期	11,476,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	137 株	2019年3月期	137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	11,475,863 株	2019年3月期2Q	11,475,863 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅実に推移し、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米中間の通商問題や英国のEU離脱の行方など海外経済に関する不確実性が高まっており、先行きの不透明な状況が続いております。

介護サービス業界におきましては、引き続き超高齢化社会への移行に伴い、介護サービスの利用者数は増加し、需要は更に高まっております。

その一方で、様々な業種にて人材不足が叫ばれている中、介護サービス業界におきましても、海外の人材も含め、人材確保に取り組むことは急務となっており、有資格者の確保はとりわけ困難な状況となっております。それらを改善するために、業界では、介護事業に従事することが社会において魅力があり、生きがいを持てる環境造りが求められております。

このような状況のもと当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）におきましては、収益面では、既存施設において施設稼働率を上昇させるため、新規利用者の獲得とサービスの向上に努めるとともに、デイサービス施設1施設及びケアプランセンター3施設を新規開設し、積極的な施設展開を図ってまいりました。また、費用面では、介護職員に係る人件費の増加により売上原価が増加するとともに、税務調査による消費税等の追加計上や業務拡大に伴う管理部門の強化等により販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は73億87百万円（前年同四半期比4.1%増）となり、営業利益は1億19百万円（前年同四半期比51.0%減）、経常損失が31百万円（前年同四半期は経常利益1億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は57百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益50百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①（デイサービス事業）

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は17億85百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は1億88百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

②（施設サービス事業）

当セグメントにおきましては、既存有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は51億10百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益は5億65百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

③（在宅サービス事業）

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その結果、売上高は4億54百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント損失は32百万円（前年同四半期はセグメント損失51百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は33億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が1億20百万円減少し、売掛金が1億60百万円増加したことによるものです。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は148億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少しました。この主な要因は、有料老人ホーム及びデイサービス施設の建物及び構築物が24百万円増加し、リース資産が1億23百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は53億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加しました。この主な要因は、短期借入金が95百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は119億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が1億21百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は10億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金が80百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は182億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1億20百万円減少して6億90百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は88百万円（前年同四半期比77.1%減）となりました。その主な内訳は、収入要因として減価償却費3億16百万円、支出要因として、税金等調整前四半期純損失31百万円、売上債権の増加額1億60百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は1億27百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出1億40百万円、預り保証金の返還による支出42百万円、収入要因として、預り保証金の受入による収入60百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は82百万円（前年同四半期比81.5%減）となりました。その主な内訳は、支出要因として、短期借入金の返済による支出8億95百万円、長期借入金の返済による支出4億15百万円、リース債務の返済による支出88百万円、収入要因として、短期借入れによる収入9億90百万円、長期借入れによる収入3億50百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	811	690
売掛金	2,333	2,493
その他	212	197
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	3,355	3,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,932	4,957
土地	2,288	2,278
リース資産（純額）	4,845	4,722
その他（純額）	189	128
有形固定資産合計	12,256	12,086
無形固定資産	56	48
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,172	2,283
その他	478	439
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	2,648	2,719
固定資産合計	14,961	14,854
資産合計	18,316	18,234

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208	204
短期借入金	2,765	2,860
1年内返済予定の長期借入金	765	821
未払法人税等	87	102
賞与引当金	211	250
その他	1,188	1,072
流動負債合計	5,226	5,310
固定負債		
長期借入金	4,828	4,706
リース債務	5,838	5,745
退職給付に係る負債	425	456
その他	917	1,014
固定負債合計	12,009	11,922
負債合計	17,235	17,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	432	432
資本剰余金	308	308
利益剰余金	342	262
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,083	1,002
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	△2	△1
純資産合計	1,080	1,001
負債純資産合計	18,316	18,234

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	7,097	7,387
売上原価	6,277	6,558
売上総利益	819	829
販売費及び一般管理費	574	709
営業利益	244	119
営業外収益		
受取利息	5	5
受取賃貸料	7	7
受取補償金	—	4
その他	4	7
営業外収益合計	17	24
営業外費用		
支払利息	158	174
その他	0	2
営業外費用合計	158	176
経常利益又は経常損失（△）	103	△31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	103	△31
法人税、住民税及び事業税	39	46
法人税等調整額	14	△20
法人税等合計	53	25
四半期純利益又は四半期純損失（△）	50	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	50	△57

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	50	△57
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	50	△56
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	50	△56

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	103	△31
減価償却費	302	316
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	36	38
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	29	32
受取利息	△5	△5
支払利息	158	174
売上債権の増減額（△は増加）	△103	△160
仕入債務の増減額（△は減少）	△15	△3
その他	106	△59
小計	614	301
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△158	△174
補償金の受取額	—	4
法人税等の支払額	△70	△44
営業活動によるキャッシュ・フロー	386	88
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△140	△140
無形固定資産の取得による支出	△20	△4
預り保証金の返還による支出	△45	△42
預り保証金の受入による収入	47	60
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,085	990
短期借入金の返済による支出	△1,040	△895
長期借入れによる収入	—	350
長期借入金の返済による支出	△365	△415
リース債務の返済による支出	△77	△88
配当金の支払額	△45	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△443	△82
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△216	△120
現金及び現金同等物の期首残高	863	811
現金及び現金同等物の四半期末残高	646	690

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,730	4,917	414	7,062	34	7,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	196	196
計	1,730	4,917	414	7,062	231	7,294
セグメント利益又は 損失 (△)	173	600	△51	723	29	752

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	723
「その他」の区分の利益	29
セグメント間取引消去	△0
全社費用 (注)	△507
四半期連結損益計算書の営業利益	244

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,785	5,110	454	7,350	36	7,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	309	309
計	1,785	5,110	454	7,350	346	7,697
セグメント利益又は 損失 (△)	188	565	△32	721	40	762

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	721
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	△0
全社費用（注）	△642
四半期連結損益計算書の営業利益	119

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失（△）	4円37銭	△5円00銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）（百万円）	50	△57
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）（百万円）	50	△57
普通株式の期中平均株式数（千株）	11,475	11,475

（注）前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。